



2023年4月4日

野村リサーチ・アンド・アドバイザー株式会社

ジャパン・サーチファンド・プラットフォーム投資事業有限責任組合の サーチャー関連契約締結について

野村リサーチ・アンド・アドバイザー株式会社(代表取締役社長:茂木豊)が株式会社Japan Search Fund Accelerator(代表取締役社長:嶋津紀子)と設立したジャパン・サーチファンド・プラットフォーム投資事業有限責任組合(以下「JSFP」)^{*}は、事業承継を目指す企業の経営者候補(以下「サーチャー」)として、片岸秀明氏および山田重樹氏と関連契約を締結しました。

片岸氏は、総合商社の自動車・IT関連部門において、新興国の投資先で自ら新規事業を立ち上げ、短期間での収益化を達成、同投資先の成長の礎を築く等、国内外での複数の事業開発を実現、また、法人営業、デジタルマーケティング、中小規模の組織マネジメント等で様々な優れた実績を有しております。

片岸氏は、「新興国でのビジネスの経験を通して、事業の成長こそが、今の日本に求められていることであり、全てのステークホルダーに笑顔と活力を与えることだと実感しております。オーナー様や従業員様の事業に対する思いを大切にしながら、自身と組織メンバーの経験・知見を融合させる事で新たな施策を見出し、組織メンバーと共に事業を成長させる喜びを共有したい」と述べています。

山田氏は、食・リテール・金融・IT業界を中心に、様々な国のプロフェッショナルとクロスボーダー案件を手掛け、ターンアラウンド、既存事業の拡大、新規事業の立ち上げ等、企業の様々なフェーズに責任者として携わるなど多くのマネジメント経験を有しています。

山田氏は、「キャリアの総決算として、経営トップの立場で、自身が培ってきた付加価値を妥協なく発揮し、組織をまとめ上げ、サーチファンドの仕組みを活用して事業承継の形で、日本の産業の底上げに貢献したい」と述べています。

野村グループは、サステナブルな社会の実現に向けて、「パブリックに加え、プライベート領域への拡大強化」や「地方共生」への戦略的取組みを推進する中で、事業承継に課題を抱える国内中小企業の第三者承継を支援しています。

JSFPは、今後もサーチャーの採用や投資対象となる中小企業の選定・投資実行を進めていきます。また、JSFPは、投資先企業の企業価値向上後に株式売却や事業会社へ持分を譲渡するなど、社会課題を解決しながら投資家にプライベート市場における収益機会を提供し、持続可能な事業承継プラットフォームとなることを目指します。

以上

ジャパン・サーチファンド・プラットフォーム投資事業有限責任組合について

2021年12月に野村リサーチ・アンド・アドバイザー株式会社と株式会社Japan Search Fund Acceleratorにより設立され、サーチファンドの仕組みを活かし、高齢化等により事業承継に課題を抱える国内の中小企業について、サーチャーが経営者となる第三者承継の実現を目指します。

本組合への出資においては、組合契約に定める管理報酬および成功報酬の負担が発生することがあります。投資の回収が不調となった等の場合には、分配金額の総額が出資金額を下回る可能性があります。本お知らせは、サーチャー関連契約締結について、一般向けの公表のみを目的としたプレスリリースであり、いかなる意味においても本組合持分その他日本国内外を問わず個別の金融商品等への募集・勧誘や投資運用業務の提供を目的とするものではありません。

ジャパン・サーチファンド・プラットフォーム投資事業有限責任組合

無限責任組合員 野村リサーチ・アンド・アドバイザー株式会社および株式会社Japan Search Fund Accelerator

適格機関投資家等特例業務届出者